令和8年度 AMED優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業 採択

進化するAI、医療はどう変わる？

― SaMDとフィジカルAIが拓く、医療機器開発の近未来 ―



AI技術は急速に進歩し、SaMD（プログラム医療機器）の発展に加え、フィジカルAIの医療分野での活用にも期待が寄せられています。急速に変革する近未来の医療を見据え、日本の医療機器開発に今何が必要かを、医学・工学・規制のそれぞれの立場から考えます。

日時　2026年 12月 16日（水）15:00―18:00

会場　北海道大学 医学部百年記念館（オンサイトのみ）

※後日オンデマンド配信予定

プログラム

15:00―15:05		**司会挨拶** 七戸 俊明 センター長（北海道大学病院 先端医療技術教育研究開発センター）
15:05―15:35		**総論：AIが変える医療機器開発の現在と未来** 鎮西 清行 先生（産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 首席研究員）
15:35―16:05		**SaMDと医療データの利活用 ― 現状と今後の展望** 工藤 與亮 教授（北海道大学大学院医学研究院 放射線科学分野 画像診断学教室）
16:05―16:35		**デジタルヒューマン・計測技術とフィジカルAIの医療応用** 田中 孝之 教授（北海道大学大学院情報科学研究院 システム情報科学部門）
16:35―17:05		**AI医療機器の審査と新規技術導入にあたっての課題** 菅原 明彦 先生（医薬品医療機器総合機構〔PMDA〕プログラム医療機器審査部長）
17:15―18:00		**パネルディスカッション** 「近未来の医療を見据え、日本の医療機器開発に今何が必要か」 ファシリテーター： 佐久嶋 研 センター長 （北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構　臨床研究開発センター） 松田 成司 准教授 （北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科） パネリスト：登壇者の先生方

お申し込み

右記の二次元コードもしくは下記URLよりお申し込みください
（https://forms.gle/zmBUFAuScSaSgoHA6）

申込締切：12月15日（火）17：00

お問い合わせ　北海道大学病院先端医療技術教育研究開発センター　CERIA[at]pop.med.hokudai.ac.jp

[at]を@に変換してください